

ドイツ市民のエネルギー革命

過去に学び、未来を創る



# Morgen モルゲン、明日

原発ゼロを決めたドイツ

それは歴史と正面から向き合うことから始まった。

戦後培われてきた市民の力が明日の世界を拓く—

企画・監督・撮影：坂田雅子 編集・構成：大重裕二

整音：小川武 配給・宣伝：リガード

ドキュメンタリー／71分／2018年／日本／日本語・英語・ドイツ語／©2018 Masako Sakata



第8回茅ヶ崎映画祭参加作品



2019年6月28日(金)茅ヶ崎市民文化会館小ホール

午前の部 10:00~11:20 午後の部 14:00~15:20(開場:各回 30分前)

チケット:当日券 1,000円/前売り券 800円

申込み・問合せ:電話 090-9328-3799(亀田)

メール teammitsubachi@yahoo.co.jp

主催:チームみつばち 後援:茅ヶ崎市

協力:湘南生活クラブ茅ヶ崎コモンズ環境委員会

NPO法人ちがさき自然エネルギーネットワーク



深い絶望を、命の未来に繋げていこう。混迷に踏み込んだまま、  
歯がゆい失望感を抱え込んでいる今こそ、この作品を見て下さい。  
日本でも出来ることがあるはず! 日本でも何かが動き出しているはず!  
どんな時も明日に向かう命の力を、見失わないために。

——加藤登紀子(歌手)

地球環境を語り、自然エネルギーを語る映画も増えた。  
しかし、「Morgen, 明日」はそのどれも異なる。  
プロパガンダ映画でもなく、観る者に現実を突きつけ答えを迫る映画でもない。  
映画から参み出てくる坂田雅子監督の生き方に魅了されてしまった。

——木村結(原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟事務局次長)

# Morgen モルゲン、明日

www.masakosakata.com

企画・監督・撮影:坂田雅子 編集・構成:大重裕二 整音:小川 武 配給・宣伝:リガード

問われているのは、私たちの現在。  
Morgen, 明日は私たち一人一人が作るのだ。

福島第一原発の事故から3ヶ月後の2011年6月、ドイツは2022年までにすべての  
原発を廃炉にすることを決めた。一方、当事国の日本では事故収束の糸口も見え  
ないまま再稼動が始まり、原発輸出の話さえ出ている。両国の違いはどこからくるの  
だろう。答えを求めて「私」はドイツに向かった。

そこで出会ったのは、都市で、村で、学校で、教会で脱原発と自然エネルギーへ情  
熱を燃やし、実践する多くの人々。第二次世界大戦での自国の行いを深く反省し、  
1968年の学生運動をきっかけに芽生えた反原発・環境保護の意識と情熱を政治  
に反映し、次世代につなげようとしている彼らの姿は、世界は市民の手で変えられる  
と教えてくれる。

初監督作品「花はどこへいった」以降、大国の犠牲となった人々を描き続けてきた  
坂田雅子監督が、権威を盲信せず、自分で考え、自ら行動を起こし続けるドイツ市  
民の戦後の軌跡を辿る旅。

※Morgen(モルゲン)＝「明日」を意味するドイツ語



どういふものに知恵を使い、ど  
ういふものにお金を使うか。僕  
はベンツ一台買うよりもソーラ  
ーパネルにお金をかけたい。い  
い気分で良く眠れるからね。



政治に関与しないことが間違  
いだと気づくの何年もか  
かった。自分で考えて行動し、  
世界への責任を持つまでには  
さらに時間がかかった。



68年の学生運動は文化の変  
革を引き起こした。学生たちは  
古く、硬直的な社会の仕組み  
を壊そうとした。



チェルノブイリの事故から自分  
の人生は変わった。電力会社  
は大丈夫だと言うばかり、脱  
原発を実現するには自分たち  
がやるしかないとわかった。



身近な行動からグローバルに  
考える。持続可能な社会は足  
元から始めてこそ実現する。



【茅ヶ崎市民文化会館】 JR 茅ヶ崎駅北口より徒歩 8 分

\* できるだけ、徒歩・自転車・公共交通機関をご利用の上、ご来場下さい。

\* 文化会館の駐車場は収容台数が少ないので(37 台)満車の場合は周辺  
の駐車場をご利用ください。

